

# 平成21年度採用分優秀若手研究者海外派遣事業（常勤研究者用）

## 申請書作成要領

I 申請書の作成について	1
II 申請書の記入について	1
III 申請書の添付書類について	6

### I 申請書の作成について

- (1) 正本、写しともに、A4版、両面コピーとし、正本1部、写し6部を提出してください。
- (2) 本会「優秀若手研究者海外派遣事業」ホームページ(<http://www.jsps.go.jp/j-wakatekojin/>)「募集要項」に募集要項・申請書の電子ファイルを公開していますので、できるだけ活用してください。
- (3) 所定の様式を改変したり、申請書に新たに用紙を加えたりすることはできません。本会が指定した書類（下記Ⅲ参照）以外（論文の写しなど）も添付できません。これらが守られていなければ不備の申請書とみなします。内容に矛盾のあるもの、記入漏れなどについても不備とみなします。もし、該当するものがあつた場合は、審査にあたり不利益を生じることがあります。
- (4) 電子ファイルを用いて申請書を作成する場合、下記の点に注意してください。
  - ・作成にあたっては、日本語で**10ポイント以上の文字**で記入してください。
  - ・様式中の各項目について枠の拡大縮小等の変更、指定されたもの以外の項目の付加、及び記入しない項目の省略等、様式の加工・変更はできません。
- (5) 申請書を手書き等にて作成する場合、下記の点に注意してください。
  - ・ワープロソフトにより編集しない場合は、所定の用紙に直接印字してください（所定の用紙に「切り張り」することはできるだけ避けてください。はがれ落ちて申請者に不利益が生じて、本会では責任を負いません。）。
  - ・手書きで記入する場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。
  - ・記載内容を訂正する場合は、      （2重線）で消し、書き直した上、訂正印を押してください。（修正液での訂正は不可。）

### II 申請書の記入について

#### 1. 申請資格等 [兼申請カード]

[英字] [英語] と指定された項目以外は日本語で記入してください。

#### ■申請する領域・分科・細目等について

項目	記入要領
①年度	今回の募集である「平成21年度」を確認してください。
②領域・分科・細目	別紙コード表Aを参照して記入してください。
③分科細目コード	別紙コード表Aを参照して記入してください。
④審査を希望する領域	別紙コード表Aの『総合領域』『複合新領域』（分科・細目コード：1001～2701）を選択した者のみ、当該細目の審査可能領域（別紙コード表A参照）から審査を希望する領域を選択してください。（○のついている領域のみ選択できます。） 『総合領域』『複合新領域』以外の領域を選択した者は記入してください。
⑤受付番号	記入しないでください。

■申請者の氏名等について

項目	記入要領
⑥氏名・漢字	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請者の戸籍に記載されている氏名を楷書で記入することが望ましい。研究上、通称名（旧姓等）を使用している場合は、戸籍に記載されている姓の後に（ ）書きで通称名（旧姓等）を記入することもできます。また本人の希望により、通称名（旧姓等）のみを記入することもできます。ただし、複数の氏名を使い分けることはできません。なお、通称名（旧姓等）のみの記入を行ったことによる不利益・不都合等について本会は一切責任を負いません。自署の場合は押印を省略しても結構ですが、ワープロ等で記入した場合は必ず押印してください。</li> <li>氏名は漢字等により記入してください。外国人で漢字で記入できない場合は、姓はカタカナで、名はイニシャル（アルファベット）のみを記入してください。 記入例1：ガクシ（ヨツ） ハコ 学振（四谷） 花子 記入例2：デイビス M</li> </ul>
⑦氏名・フリガナ	姓と名の間は1字あけてください。
⑧氏名・ローマ字	姓と名の間は1字あけ、姓・名の順に、 <u>姓はすべて大文字、名は最初の一文字は大文字あとは小文字</u> で記入してください。
⑨生年月日（西暦）	「19」につづいてマス目に年月日の順に記入してください。数字が一桁の場合には二桁目に0をつけてください。また、 <u>2009年4月1日現在</u> の歳を記入してください。
⑩性別	どちらか選んでください。
⑪国籍	どちらか選んでください。その他の場合には別紙コード表Fを参照して、国名とそのコード記号を記入してください。また、国籍がその他の場合には、永住許可がなければ申請資格がないので、日本に永住を許可されていることを証明する「外国人登録済証明書」又は「外国人登録原票記載事項証明書」を添付してください。

■申請者の大学院博士課程について

項目	記入要領
⑫大学名	別紙コード表B-1、外国の大学等研究機関についてはB-3を参照して記入してください。ただし、大学院博士課程へ進学していない場合、記入は不要です。
⑬研究科名	「⑫大学名」について別紙コード表B-1から選んだ者は、別紙コード表Cを参照して記入してください。ただし、大学院博士課程へ進学していない場合、記入は不要です。
⑭研究科種別	<p>該当するものを選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区分制・・・3年制の博士課程（博士課程の後期課程、後期課程のみの博士課程等）</li> <li>一貫制・・・5年一貫制の博士課程</li> <li>医・歯・獣医学系・・・博士(医学)、博士(歯学)、博士(獣医学)等を授与する4年制の博士課程</li> </ul> <p>ただし、大学院博士課程へ進学していない場合は、選択不要です。</p>
⑮学位	博士の学位の種類を選ぶとともに、取得又は取得見込年月日を西暦で記入してください。また取得・取得見込のうちどちらか選んでください。ただし、博士の学位を取得しておらず、かつ取得見込みもない場合、「未取得」を選択してください。その場合、取得又は取得見込み年月日に記入する必要はありません。
⑯単位修得退学	「⑮学位」に該当しない者で、我が国の人文科学又は社会科学の分野の大学院博士課程に標準修業年限以上在学し、平成21年3月31日までに所定の単位を修得のうえ退学又はその見込の者は、単位修得退学又は単位修得退学見込年月日を西暦で記入して下さい。また退学・退学見込のうちどちらか選んで下さい。

【参考】 5年一貫制の博士課程（平成20年4月1日現在）

このほかにも、申請受付時まで追加となっている場合がありますので、各自大学に確認してください。

筑波大学大学院 人文社会科学研究所、生命環境科学研究科、人間総合科学研究科  
京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究科

大阪大学大学院	生命機能研究科
九州大学大学院	システム生命科学府
総合研究大学院大学	物理科学研究科、高エネルギー加速器科学研究科、複合科学研究科、生命科学研究科 先端科学研究科
青山学院大学大学院	国際マネジメント研究科（国際マネジメントサイエンス専攻）
日本大学大学院	総合科学研究科（人間開発科学専攻、環境科学専攻、生命科学専攻）
国際仏教学大学院大学大学院	仏教学研究科（仏教学専攻）
立命館大学大学院	先端総合学術研究科（先端総合学術専攻）
東亜大学大学院	総合学術研究科

■申請者の現在の所属機関について

項目	記入要領
⑰機関名	今現在の所属機関について、別紙コード表B-1、B-2を参照して記入してください。
⑱部局名	「⑰機関名」について別紙コード表B-1から選んだ者は、別紙コード表Cを参照して記入するとともに、種別について選んでください。
⑲申請資格/職名	該当するものを選んでください。該当するものがない場合には、別紙コード表Eを参照して、その他の欄に職名とコード番号を記入してください。

■研究課題名について

項目	記入要領
⑳研究課題名	<ul style="list-style-type: none"> <li>和文については、具体的な研究内容を必ず40字以内（記号、数字等もすべて一文字として数える。）で簡潔に表現してください。</li> <li>研究課題には、副題を記入しても差し支えありません。特に共同研究課題の場合は、申請者が担当する部分を副題として記載してください。ただし、副題を含めて40字以内としてください。</li> <li>化学式、数式による表記は避けて、漢字・カナ等で書いてください。ただし、DNA等アルファベットで表現することが一般的なものについては差し支えありません。 （例）<math>H_2O \rightarrow</math>水</li> <li>研究課題名〔英語〕も記入してください。</li> <li>なお、申請書提出後、研究課題を変更することはできないので、留意してください。</li> </ul>

■派遣期間・派遣国等について

項目	記入要領
㉑派遣を希望する期間	派遣開始日は平成22年1月1日から平成22年3月31日まで（2010年1月1日から2010年3月31日）の間とします。 （例）派遣期間 平成22年1月1日～平成22年6月30日まで（6か月）
㉒派遣先国	別紙コード表Fを参照して国名とそのコード記号を記入してください。
㉓海外における受入の大学等研究機関での身分〔英語〕	英語で記入してください。

■学歴、研究・職歴について

項目	記入要領
㉔学歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>年月を西暦で記入してください。</li> <li>大学院博士課程の出身又は在学の「㉒大学名」「㉓研究科名」「㉕学位」「㉖単位修得退学」の記入と相違ないか注意して記入してください。</li> </ul>
㉕研究・職歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>年月を西暦で記入してください。</li> <li>本会特別研究員、及び本会以外の同様のフェローシップの採用歴も含めて記入してください。</li> </ul> （例）2007年4月1日から2009年3月31日 平成19年度採用特別研究員-DC2

■派遣先における受入研究者について

項目	記入要領
⑲氏名〔英 字〕	英字でFAMILY NAME、First Name、Middle Nameの順に記入してください。FAMILY NAMEについてはすべて大文字で、First Nameについては最初の文字のみ大文字であとは小文字で、Middle Nameについてはアルファベットのイニシャルと省略記号「.」で表記してください。
⑳職〔英語〕	英語で記入してください。
㉑受入機関名〔英語〕(和訳名)	海外における優れた大学等研究機関をひとつ選び、それぞれ英語と和訳名を記入してください。複数の研究機関を受入研究機関として申請書に記載することはできません。また、我が国の大学等学術研究機関・国公立試験研究機関等が海外に設置する研究所等、又は営利を目的とした民間研究所等を受入研究機関とすることはできません。大学又は国公立の研究機関以外の場合には、その機関に関する説明書・パンフレット等を添付してください。
㉒受入部局名	受入機関において所属することになる部局名を、英語と和訳名で記入してください。複数の部局名を受入部局として申請書に記載することは出来ません。
㉓連絡先	海外における受入研究者の連絡先を記入してください。

■申請者の自宅について

項目	記入要領
㉔申請者自宅	自宅住所・電話番号・携帯電話番号・FAX番号・E-mailアドレスを記入してください。なお、自宅住所に変更が生じた場合は、直ちに届け出てください。

■審査結果通知等の連絡先について

項目	記入要領
㉕審査結果通知等の連絡先	「1. 自宅」「2. 所属機関」「3. その他」のうち、該当するものを選んでください。
㉖郵便番号	審査結果等の郵便物が確実に届く郵便番号を記入してください。なお、この連絡先に変更が生じた場合は、直ちに届け出てください。
㉗電話番号	変更が生じた場合は、直ちに届け出てください。
㉘住所	審査結果等の郵便物が確実に届く住所を記入してください。なお、この連絡先に変更が生じた場合は、直ちに届け出てください。
㉙機関名・部局名・研究室等	「㉕審査結果通知等の連絡先」において、「2. 所属機関」を選択した者のみ記入してください（「3. その他」を選択した者のうち、大学等研究機関を連絡先としている者も記入してください）。

2. 優秀若手研究者海外派遣事業申請者調書

申請書に記載されている注記を踏まえた上で記入してください。

項目	記入要領
受賞歴	・受賞年月日（西暦）・賞の名称を記入してください。
主な過去の渡航歴	・大学院在籍時から派遣開始予定日までの間で海外において行った研究活動について、訪問先、目的、期間等を記入してください。 (例) 英国・ケンブリッジ大学 海外特別研究員 2007年4月1日から2009年3月31日
派遣先における受入研究者との連絡状況	・関連する往復書簡等の送受信の日付、内容を明記して下さい。 (例) 2009年7月30日 優秀若手研究者海外派遣事業に採用された場合の受入について
語学能力	①主な使用言語について ・言語欄には、派遣先国での研究活動（論文執筆、学会発表、調査、研究討論等）

	<p>における主な使用言語を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「②領域・分科・細目」で数物系科学・化学・工学・生物学・農学・医歯薬学のうち、いずれかの領域を選択した者<sup>※2)</sup>は英語について必ず記入してください。英語以外の言語については任意とし、必ずしも記入しなくて結構です。</li> <li>・「②領域・分科・細目」で人文学・社会科学のいずれかの領域を選択した者<sup>※3)</sup>は、派遣国での研究活動（論文執筆、学会発表、調査、研究討論等）において主に使用する言語を記入してください。（複数回答可）</li> </ul> <p>※2) コード表 A 参照。なお、総合領域又は複合新領域を選択し、かつ「④審査を希望する領域」として、数物系科学・化学・工学・生物学・農学・医歯薬学のいずれかを選択した者を含みます。</p> <p>※3) コード表 A 参照。なお、総合領域又は複合新領域を選択し、かつ「④審査を希望する領域」として、人文学・社会科学のいずれかを選択した者を含みます。</p> <p>②主な使用言語に対する自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①の言語について、下記「自己評価の基準」に添って、優・良・可・不可のいずれかを記入してください。</li> </ul> <p>③語学能力検定試験結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①の言語に関する語学能力検定試験結果がある場合は記入し、証明書（コピー可）を添付してください。</li> </ul>
--	--

### 3. 現在までの研究状況

申請書に記載されている注記を踏まえた上で記入してください。

### 4. 派遣先における研究計画

申請書に記載されている注記を踏まえた上で記入すること。

1 2 か月を超える派遣期間を希望する者は、必ず「(1) 研究目的・内容」の< 1 2 か月以内の研究計画>欄と< 1 2 か月を超える期間の研究計画>欄の両方を記入するとともに、「(4) 1 2 か月を超える期間を派遣先で研究遂行する意義・必要性（該当者のみ）」欄も記入してください。

### 5. 主要研究業績

記入例 下記はあくまでも一例であり、体裁は申請書に記載されている注記を踏まえた上で適宜調整してください。

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文及び著書

（査読有り）

1) 学振太郎<sup>1</sup>、半蔵門花子<sup>2</sup>、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57-62、2003

2) 麴町治郎<sup>3</sup>、学振太郎<sup>1</sup>、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp33-39、2008

・・・

注：著者の所属・職（論文発表時）  
1 〇〇大学〇〇研究科大学院生、2 〇〇大学〇〇学部助手、3 〇〇大学〇〇研究科教授、・・・

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

1) 学振太郎、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57-62、2006

・・・

(3) 国際会議における発表

（口頭発表 査読有り）

1) Gakushin T, Hanzoumon H,・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2005)

・・・

著者の当時の所属及び職名等を記載してください。

パンフレット等に掲載された際に付された番号があれば記載してください。

**(4) 国内学会・シンポジウム等における発表**

(口頭発表 査読無し)

1) ○学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、No.200、仙台、2004年9月  
・・・

**(5) 特許**

(公開中)

1) (特許の番号)号、「(名称)」、麴町治郎、学振太郎、2004年4月  
・・・

### Ⅲ 申請書の添付書類について

下記の書類を申請書に添付してください。

- (1) 派遣先における受入研究者との連絡状況を示す主要な往復文書 …………… 写し7部 (A4版)
- ・往復文書とは、海外における受入研究者とのやりとりを示すもので、優秀若手研究者海外派遣事業に採用となった場合には受け入れる旨が明記されているものです。形式については、電子メールの写し等でもかまいませんが、連絡状況のわかる主要なもののみ提出 (なるべくA4版1枚に調整)してください。
  - ・英語以外の言語によるものには、日本語訳も添付してください。
- (2) 語学能力検定試験の証明書【該当者のみ】 …………… 写し7部 (A4版)
- ・「2. 優秀若手研究者海外派遣事業申請者調書」の「語学能力検定試験結果」欄に記入した場合のみ、試験の級/スコアの証明書 (コピー可) を申請書に添付してください。
  - ・提出した証明書は申請者へ返却しないので、その旨留意してください。
- (3) 外国人登録済証明書【該当者のみ】 …………… 正本1部
- ・外国人は、日本に永住を許可されていることを証明する外国人登録済証明書又は外国人登録原票記載事項証明書を添付してください。
- (4) 優秀若手研究者海外派遣事業申請カード …………… 正本1部
- ・申請書の1、2ページの写し (A4版両面コピー) を正本とします。
- (5) 海外の受入研究機関に関する説明書・パンフレット【該当者のみ】 …………… 正本1部
- ・海外での受入研究機関が大学又は国公立の研究機関以外の場合には、その機関に関する説明書・パンフレット等を添付し、営利を目的としていないことを分かるようにしてください。